

アルコールには、 さまざまな病気のリスクがあります

アルコールは血液を通じて全身を巡るため、いろいろな臓器に病気が起こる可能性があります。

また、飲酒による影響には個人差があり、年齢・性別・体質等の違いにより、それぞれ受ける影響が異なります。



純アルコール量と病気の発症リスク



男性	純アルコール量 (1日あたり)	女性
高血圧、胃がん 食道がん	少量	高血圧、脳出血
	11g	脳梗塞
	14g	乳がん
大腸がん、脳出血 前立腺がん	20g	大腸がん 肝がん、胃がん
喫煙者の肺がん 脳梗塞	40g	
肝がん	60g	

少量の飲酒でも発症のリスクが高まります

参照：健康に配慮した飲酒に関するガイドライン（厚生労働省）